

～iPadで朝の会～

パソコンや携帯電話の操作が得意なA君。iPadに挑戦しています。アプリは、主にドロップトークHD（視覚支援やコミュニケーション支援に活用できるシンボルライブラリー）を使っています。**ドロップトークHD**は、支援学校の先生たちが作り上げたもの。シンボルも解り易く、使い方もシンプルで代替コミュニケーションとして使用していければと考えて取り組んでいます。（シンボルは、予め700語が内蔵されていて、とても重宝しています。もちろん使いたいシンボルをプラスすることもできます）

呼名の時などカードを渡したり、貼ったりするのがゆっくりな友だちに対して「ウーン！！」と怒っていたA君も、これを使うことで「OOくん、カードを渡してください」などと思いを伝えることができ、落ち着いて取り組めるようになりました。



みんなで画面を見ることができるよう、TVにつなげて行っています。

<手順>



キャンパスを選択する



伝えたいシンボルを
タッチする



音声と共に大きく
表示される

(竹村)



キャリア教育の取り組み

「キャリア教育」。よく聞く言葉ですが、現在、就労を目指した狭義のものではなく、働く「生活」を中心とした様々な役割の充実を目指したもの、生涯にわたるものという視点でより充実が求められています。

今回は高等部における「キャリア教育」を意識した取り組みを紹介します。

旅を計画しよう！

- ・自分達で旅程を組む(車イスでもいけるか、体験活動があるか、などの視点を持って)
- ・バス会社や行く先に連絡をする
- ・公共交通を利用する際の時刻や値段を調べる
- ・旅先では、役割(カメラ係・インタビュー係など)を持って行う
- ・写真やコメントなどで振り返る



数学で学んだバスの時刻表の見方や国語で学んだインタビューの仕方を利用して、旅を計画し、実施しました。どこに行くかについて決断したり、写真を選んだり自己決定の機会も多く設けました。

(須井)